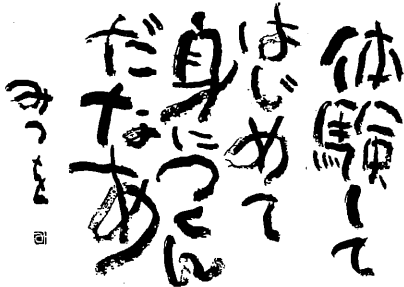


さくら第508号

令和 4年 4月

さくら

発行所 さくらそろばん
 発行者 平瀬重雄
 春江町境 17-7:TEL51-1337
 hirase@mx2.fctv.ne.jp



『そろばん学習の意義』

日々のそろばん学習を通じて皆さんに伝えたいこと、どのような気持ちで学んで欲しいかを「さくらそろばん学習プラン」としてまとめてみました。

珠算教育目標として「好奇心をもち、力いっぱい、いっしょうけんめい努力する」とし、目指す学習像として「自ら考え、あきらめず、やりぬく力をはぐくむ」としています。

なぜ、このような計算方法でするのかな、どうすればうまくなるのか、言われた事だけ練習するのではなく、少しの時間を大事にして、自分の苦手な種目やよくミスする問題をくり返し何度でもあきらめずやり続けることが大事で、すぐイヤにならずがんばることです。

大人になり仕事につくとよい事ばかりは続きません。人から言われる前に自分で今、何をすべきかを考えるクセを続けるためには、すぐにあきらめないことです。

具体的な取組として4つに分けています。1つは確かな計算力、2つ目が豊かな暗算力、3つ目に目標達成力、そして4つ目に挑戦力を掲げています。

確かな計算力を養うためにふだんの練習では下記の問題を行っています。①四則計算と補数計算、②応用計算、③加減乗除算の計算、④連続乗除算の計算、⑤統計算の計算(たてよこ計算)、⑥漢数字の計算、⑦伝票算、⑧開平・開立の計算、⑨時計の計算(時間の計算)、⑩興味教材。

豊かな暗算力をはぐくむために、①2桁10口の見取暗算、②2桁×2桁の乗暗算、③4

桁÷2桁の除暗算、④フラッシュ暗算、⑤読み上げ暗算(2桁10口)、⑥伝票算暗算、⑦四則混合暗算、⑧概数暗算、⑨暗算ビンゴ、⑩九九博士のトレーニングをします。

目標達成力としては技能優秀者表彰基準をふまえ①小学1年生で6級合格、②小学2年生で5級合格、③小学3年生で4級合格、④小学4年生で3級合格、⑤小学5年生で2級合格、⑥小学6年生で1級合格、⑦中学生で段位合格・昇段、⑧そろばんコンクール連続アップ(5ヶ月以上で表彰)、⑨暗算検定試験合格・昇段、⑩珠算・暗算1級満点合格。

挑戦力を身につけるために、①アバカス福井年間3回参加、②通信珠算コンテスト年間1回参加、③暗算コンクール福井大会参加、④そろばんコンクール福井大会参加、⑤福井県段位チャンピオン大会参加、⑥福井県珠算競技大会参加、⑦福井県珠算選手権大会参加、⑧全日本通信珠算福井県大会参加、⑨、全日本珠算選手権大会出場、⑩グランプリジャパン全国大会出場。

そろばん学習から得る大きな力を身につけるためには自分からすすんで力いっぱい、いっしょうけんめいに取り組んでください。生まれた月日、そろばん学習を始めた時期と練習時間はそれぞれ違いますが、やる気と向上心により結果がよくなります。頑張るのです。

よい結果を得るためには準備が必要です。エンピツの芯の先が丸くなったので書いた8や9の数字を見るとつぶれてしまい白い部分が見えず、×になります。

毎回のことながら先生から指示があるまで指ならしさえせずぼんやりしている人。ミスした問題をすぐ始めて間違いの原因をさがす人。応用計算で答えに単位を書かず×になる人。

手帳に出席印を押してもらおうと自分からすぐに練習する人がいる反面、ダラダラと数分間を無くする人もいます。いつも自分の目標を決めて積極的に行動しましょう。自分の為に。

「さくらそろばん」で検索し、「学習内容」をクリックすると画面にこの内容が表示されます。